

会 議 録

会議名	第1回 みよし市町誌編さん委員会			記載者	久野 宗秀・伊藤 大輔
期 日	平成25年6月24日(月)			場 所	市役所 201 会議室
	午後2時～3時30分				
出席者	副市長	小野田 恵一		事務局	部 長 塚本 直樹
	編さん委員	小野田英久	石川 芳秋		次 長 近藤 政彦
		深谷 みほ	木戸 友二		専門監 酒井 峰孝
		近藤 隆治	水野 裕之		課 長 久野 宗秀
		黒田 安雄	小野田賢治		専門員 伊藤 大輔
	欠 席	林 董一			
内 容					

1 委嘱状交付

【事務局】それでは平成25年度第1回みよし市町誌編さん委員会を始めたいと思います。編さん委員の任期につきましては今年の3月までとなっていました。本年度改めて委嘱をさせていただきたいと思います。副市長より委嘱状の交付をいたします。

2 あいさつ

【副市長】(あいさつ)

3 会長及び副会長の指名

【事務局】続きましてこの会の会長及び副会長の指名を行います。町誌編さん委員会規則第3条に基づき副市長より指名をお願いします。

【副市長】はい。会長を小野田英久様、副会長を石川芳秋様にお願いしたいと思います。

【事務局】それでは会長の小野田英久様にご挨拶をさせていただきたいと思います。

【会長】(あいさつ)

【事務局】ありがとうございます。副市長は次の公務がございますので、ここで退席をさせていただきます。

4 調整委員会委員の指名

【事務局】次に調整委員会委員の指名を行います。町誌編さん委員会規則第7条2項にもとづきまして会長より指名をお願いします。

【会長】立場上、私から指名という事になっているようでございますので、大変ご無礼ではございますが、調整委員会の皆様の指名をさせていただきたいと思います。調整委員には監修者の林董一様、石川芳秋様、黒田安雄様、深谷みほ様、そして私小野田英久、以上5名とさせていただきます。

【事務局】(事務局より部長以下自己紹介)

【会長】職員の皆様に自己紹介していただきましたが、資料の一番最後に一覧表として載っておりますのでご覧いただきたいと思います。

【事務局】それでは議事のほうに入りたいと思います。会議の取り回しについては小野田会長にお願いします。

【会長】それでは次第に沿って進めます。議題1は町誌編さん事業報告についてでございます。事務局より説明をお願いします。

5 議題

(1) 町誌編さん事業報告について

【事務局】(町誌編さん事業報告について報告)

【会長】ご苦労様でした。事業報告を取りまとめて説明していただきましたが、委員の皆さんのご意見やご質問がございましたらお願いしたいと思います。特にご質問ございませんか。ないようですので次に進みます。

(2) 平成25年度町誌編さん事業計画(案)及び編集委員会収支予算(案)について

【事務局】(事業計画(案)及び編集委員会収支予算(案)について説明)

【会長】ご苦労様でした。ただいま事業計画と収支予算について説明がございましたが、これについて皆様のご質問、ご意見を承りたいと思います。ご質問がないようですので、一つ私から。収支予算の事について教えてください。完了発表会を予定しているんですが、その予算というのはどのくらいですか。

【事務局】完了の予算というのは、ここの費用とは別に直接みよし市の一般会計で立てております。資料の作成、ポスターの作成、サンアートを借りる費用、看板代など合わせて教育行政課の予算約30万程で立てております。編集委員会の費用とは別になります。

【小野田会長】他にございますか。それではこの事についてご質問、ご意見がないようですので、町誌編さん事業計画(案)及び編集委員会収支予算(案)について採決をいたしたいと思います。ご承認いただける方の挙手をお願いします。

(全員挙手)

【会長】はい、ありがとうございます。全員賛成ですので、この事について原案通り可決いたします。次に議題3の本文編の掲載原稿についてを議題としたいと思います。事務局より説明をお願いします。

(3) 本文編の掲載原稿について

【事務局】(本文編の掲載原稿について説明)

【会長】ご苦労様でした。分厚い内容を取り急ぎ説明していただきましたが、本文編の原稿について皆様のご意見、ご質問がございましたら。この間、編集委員会で責任者としてお世話になりました黒田先生に大変なご苦労があったと思いますので、委員の皆様にも含めてお話しいただけたらと思います。

【委員】私は原田先生の後を引き継いだだけです。「あとがき」を書いてくれと言われてましたが、1か月ぐらい経ってますけど書けなくて、今おっしゃった事を書くべきなのか、あっさりした事を書くべきなのかいろいろ迷いましたけれども実際としてはそういうところです。

私はこの地域で日本史の勝負をしているわけではありませんので、まだ分らないところがたくさんありますけど、今考えてみれば三好町誌をつくる編さん体制は、私は今まで何か所か経験してきましたが、それがいいか悪いかは別問題としてはじめての経験でした。林先生というこの地域のベテランの先生がいらっしゃいますから各部会長安心して仕事をしていたと思いますけど、結果的には普通の通史と比べれば、章節編成見ても分かりますように若干報告書みたいところ、あるいは研究書に近いようなところもありますけど、並べてみますとこれで良かったのかなというのが正直なところですよ。もう1点は、これだけの市でお金と期間をかけていますから、やはりこのボリュームでは極端な言い方しますと、日本史の中世と近世ぐらいの分厚さです。これを8つで分けてやっていますから若干舌足らずになるところもありますし、掘り下げが足りなくなるという事も仕方がなかったかと思います。ただ、いろいろいきさつありましたが、考えてみればよく出来ていると思います。私は基本的にこういうものにはいろいろ問題や読み違いがあると思いますけど、現時点で精一杯の事をやっておけばその次に生きてくると思います。私がここをさせてもらう事になって最初の町誌と打越の歴史を読んだ時にもものすごく感銘を受けました。内容はともかくとして自分の気持ちで一生懸命されているんです。そういうものが今日のこれに繋がってきているのではないかと思います。近世の立場から言いますと、地名とか古い地域が分かるんじゃないかと思いましたが、江戸時代のものを復元するには不可能に近いというのが一番残念な事でした。区画整理以前の景観の変容のなかで文献と突き合わせるのが非常に難しい。ただ、逆にいえばこれよりも前に町のほうで基礎的な文献の調査とか資料館で基礎的な作業をされていますからそれがなければおそらく近世は出来なかったんじゃないかなと思っております。

【会長】ありがとうございました。直接責任でやっていただいた黒田先生ではなくてはならない、他の先生では出来ないような話をしていただきました。他の方はどうですか。原稿をご覧いただいてご意見、感想などあったらお願いします。

【委員】大変なご苦勞だったなという事を思って、編集された方、部会の方に敬意を表します。おつかれさまでした。

【委員】本当に長い期間大変なご苦勞があつて、やっところまで来たんだと思います。私も昨年からの参加でごく一部しか関わっていないんですけど、先ほどご意見が出たように今回はこれをつくって、これを次に引き継いでいくというのがこういったものの理論性かなと思いますので、今後に引き継いでいただければと思います。

【委員】本当に長い間ご苦勞様でしたとしかいいようがございません。

【委員】本当にありがとうございました。黒田先生がおっしゃいましたように現時点で精一杯やってる事が次に繋がってくるという事で、先生方相当苦勞されたなかでこういうものが出来上がってきたんだなとお話を聞いていて思いました。僕はこういうものをまた違った視点で見た時にみよしの子供たちにどのようにして上手く引き継いでいったらよいかというのが大きな課題だなと。

【会長】以前から特に先代の石川会長は学校教育現場で町誌を活用していくことを非常に盛んにおっしゃっていたわけですが、教材として子供たちがどのように活用していくかも含めて大きな課題だと思います。せつかくの資料ですので知恵を絞っていただけてご活用していただきたいと思っております。事務局にも大変ご苦勞をかけたわけですが、よくやっていただいたと改めてお礼を申し上げたいと思っております。

いろいろ言いたい事もあるかと思いますが、そのなかで年表と索引は大変な作業です。今も続いているようですが、特に何かありますか。

【事務局】年表はそれぞれの部会長さんにご担当の分野をまとめていただいております。そのなかで体言止め、用言止め、句点のうち方など記載の統一を林先生にお願いしてある程度全体統一がはかれたかと思っております。索引については現在進行中でありまして、今回の原稿についても頁が仮頁で、1頁から連番が振られておりません。それを原稿が確定した段階で1頁から頁をいれまして、その後1,200頁通したなかでの索引項目のふり直しをもう一度事務局でやらせていただきます。こちらの作業は今から出てきますので最後の詰めまでには作業的にまだあると思います。

【会長】完成式典が9月28日(土)だとすると、発刊するまでにはどれぐらいかかりますか。

【事務局】発刊は7月31日となっておりますけど、若干遅れるかも知れないという状況です。広報の9月1日号で発刊をPRしたいと考えていますから9月に入れば一般購入していただけるかと思えます。

【会長】1冊いくらになりますか。

【事務局】3,000円です。発刊した後に先生方に確認していただきますので、場合によっては正誤表が出る可能性があります。別編、資料編も正誤表が出ておりますので、それも含めて最終的なものを入れて一般販売して、関係者にも配布をしていきたい。発行部数を2,000部予定しております、そのうちの1,000部を関係者に配布を予定しております。関係者というのは、県内の図書館、資料館、大学の機関、ご協力いただいた方とか関係者の方、県外の方ももちろんございます。残りの1,000冊は1冊3,000円で一般販売をしていきます。

【会長】委員の皆様には資料送付してご覧いただけたかと思うんですが、索引だけでみると、項目がどの頁に取り上げてあるかという事で整理が大変だったと思います。また、他の市町村を見ていると、年表だけで3年かかったという話も聞くんですが、見事にまとめていただいてこの作業だけでも大変だったろうと思います。町誌の一卷と新しい町誌の読み比べという事で特に江戸時代の事だとか、一卷に藩政の図が載っているんですが、あの表を今回の新編三好町誌でも話題にさせていただいて、ここら辺との比較、新しい考え方など比較検討して見比べるとおもしろいなと感じました。それから今回原始・古代と古窯を分けていただきました。編集の段階で黒田先生、林先生には非常にご苦勞があつて、最終的に分けて取り上げていただきました。

【委員】それぞれずっと研究者で自任されて来られて、結局はある程度通史という形で地域に還元しなきゃなりませんので、基本的には重点をどちらかに置くかによって思い入れがあるわけです。ですから、その辺の妥協の接点がこういう形になったのではないかと思います。先ほどから申しておりますように結果的にこれで良かったのではないかと今は思っています。ただ、ご覧になればどこのところが力を入れてどこが弱くてどこがぼかしているかというのは専門家が読めば必ず分りますから、これはもう書いたほうの部会の責任です。これだけのものが出れば、いずれその評価は出てくるかと思えます。地域のほうから反響があつた時には、「これはこういう立場で書いています」という事を言えればいいのではないかと思います。この本もそういう意味ではいろいろ意見あるかも知れませんが、一応きちっと受け止める事が出来る本になったのではないかと思っております。林先生と事務局は大変だったと思います。

【会長】ありがとうございました。地名のところで今回鏡味先生が非常に分かりやすく分類していただいて一般の方にもきっと読んでいただけるのではないかと期待しています。それから福谷城の件でございますが、本当に詳しく書いていただいて今までは単なる話題として福谷城が出てきましたが、初めて分類もしていただいて、索引にも多く取り上げていただいております。他に委員の皆様のご質問、ご意見ございますか。

【委員】地名の萌生村のところで、私は「キタカイドウ」だと思っていたんですが、「キタガイトウ」と書かれています。

【事務局】現在のみよし市の地名の読み方は「キタカイドウ」ですが、こちらに書いてあります地名の読み方は『明治十五年郡町村字名調』の時に国のほうに報告した読み方ですので、現在の読み方とは違っております。当時の史料がこのように記載されているという事です。今の読み方とは違ってある場合があります。

【会長】明治15年の史料とその後読み方が変わったものが随分あるわけですね。

【事務局】あります。明治15年に報告された振り仮名です。あくまでも史料をそのまま掲載したという事でそのまま紹介されています。

【事務局】その当時文献を県の方が間違えて読んだのではないかというものがいくつもあります。たとえば、先ほどの「北海道」の5行後に「土郎谷」というのがあるんですけど、元来は「ドロダニ」と言っています。向こうの人が「ツチロダニ」と読んでそのまま出してしまったのではないかと思います。「ツチロダニ」と言った記憶がありません。

【委員】当時そのように読んでしまったのでしょうか。明治15年の時にはそうだったという事でいいんじゃないでしょうか。

【事務局】担当者がそのように読んで報告した名前という事で理解すれば別にいいのかと思います。

【委員】今おっしゃった意見が出てきますので、本来はこういうのはかなり時間をかけて集めてそれで確定してやっていかなければいけない。入れるなら資料編あたりに入れます。

【会長】本文編ではなくて資料編で出すという事ですか。

【委員】出すんだったら後ろに解題などを書いたりしてそういう形です。この場合は通史ですからある面と言えば決定版になってしまうわけです。特に今はどの概説書でもルビを振ることになっているんですけど、正直言って分らないんです。人名でもそうですから地名の場合は本当に難しい。270年間のうちの近世後期で且つまた明治ですから世代も変わりますし。

【会長】まだ議論をいただきたいとは思いますが、時間の都合もございますのでご意見、ご質問等がなければ次に進めさせていただきたいと思っております。議題4の刊行完了記念事業について説明をお願いします。

(4)『新編三好町誌』刊行完了記念事業について

【事務局】(刊行完了記念事業について説明)

【会長】ご苦労様でした。記念事業につきまして概略の説明がありましたが、皆様のご意見を頂戴したいと思います。記念講演をご厄介になりたいという事で事務局や担当の先生方と調整していただいておりますが、1部、2部と2人お願いして今までの段階では、司会は女子職員の方をお願いをするという事です。どこら辺まで案内を出すかという事も検討し

ていただいて、先ほどご指名させていただきました調整委員の皆さんには完了記念の講師が決まった段階で8月下旬か9月上旬に最後の調整委員会を開いて当日のスケジュールや考え方を調整したいと思えます。またご案内を差し上げますので再度この事業の仕上がりを検討していただくという事になろうかと思えますのでよろしくお願い致します。講演の1部を黒田先生か先生のところでご無理をお願いするという事でしたけど。

【委員】他の先生がいいと思うんですけど、質問が出たらしくいという感じですので、私にご迷惑をかけましたので最悪の時には自分がやります。

【会長】一番ポイントになる部分ですので、ぜひ先生にお願いしたいと思えます。大変な時にご無理を言って原稿を書いていただいたわけですから。今までにない事をするので盛り上がる、あるいは一般の方も町誌に関心を持っておられて、ぜひ読んでいただいて活用していただくためにもこの会が上手くいくといいなと思っております。皆さんの知恵を出していただいているんな方面の方にご協力いただきたいと思えます。一般の方も当日参加していただいてもいいわけですか。

【事務局】はい。もちろんです。

【会長】少し席を多くつくっていただいて、そこに座っていただければ大変ありがたいと思えます。では、このような形で詳細をこれから詰めていただくわけですが、完了記念事業を進めていく事について皆さんご意見ありませんか。特にないようですので、関係の先生方、事務局にもご厄介になりますが、完了事業をお願いしてこの議題を終えたいと思えます。以上、予定していた議題を終えたいと思えますが、その他に事務局何かございますか。

【事務局】第2回の編さん委員会でございますが、9月を予定しております。編さん事業の締めという事で最後に完了報告をしたいと考えております。記念事業の前か後かは分かりません。

【会長】それでは最後に塚本部長のご挨拶で締めにしたいと思えます。よろしくお願い致します。

【事務局】皆さん長時間にわたりご審議いただきありがとうございますございました。本年は第1回目ではありますが、本当に長い間お世話になっていよいよ町誌も発刊できそうという事で記念事業の事までご審議いただきました。市民に親しまれる立派な町誌になる事をご祈念申し上げ、また、これまで皆様に大変お世話になった事を感謝申しあげましてお礼の言葉とさせていただきます。大変ありがとうございます。

【会長】ご苦勞様でした。以上をもちましてこの会を終わらせていただきたいと思います。ありがとうございます。

午後3時30分 終了